

旧区役所
跡地

「多世代交流の拠点」着工

来年1月完成予定



「ONE FOR ALL横濱」(仮称)の完成予想図

横浜市が行った同土地の公募売却で、昨年2月、「戸塚駅西口周辺地区における新たな地域活性化が期待できる」とし、同医療法人が事業予定者に決定していた。

医療法人横浜柏堤会が進める旧戸塚区役所跡地の開発工事が始まった。建設されるのは、高齢者や子育て支援、地域交流の機能に特化した多世代交流の拠点。にぎわい創出や少子高齢化への対応といった地域課題の解決につながる施設として、2017年1月に竣工予定となっている。

施設の名称は「ONE FOR ALL横濱」(仮称)。建設地は戸塚町157番3、157番7。2017年竣工予定。地目は宅地、田。地積(実測)は3184.73㎡。同医療法人は「急性期医療」から「回復期」「在宅医療」までのトータルヘルスケアの提供を目指し、戸塚区を中心に地域医療に取り組む。また、少子高齢化が進むなか、高齢者へのケア(介護老人保健施設、訪問診療、訪問介護)と子育て支援(主婦健診、病児保育、小児医療)の分野においても充実を図る。「ONE FOR ALL横濱」は、これまでの同医療法人の取り組みを地域に開かれたものとし、「高齢者ケア」「有料老人ホーム」「子育て支援」「産婦人科、病児保育」など、地域住民の生活を補完し、街の活性化や生活を豊かにするための機能を集結させた。

また、1階には地域交流施設・オープンスペースとして地域住民が利用できるように貸し会議室、キッズコーナー、図書コーナー、カフェスペース、ウオーキング休憩所を設置する予定となっている。

同医療法人の横川秀男理事長は「私たち、医療法人横浜柏堤会は、法人理念である『ONE FOR ALL, ALL FOR ONE』の精神のもと、新たに建設する多世代共生施設を通じて、地域の皆様に街の賑わいと、当法人が目指す『地域トータルヘルスケア』の提供を実現してまいります」と話している。